

第2期伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	平成27年度					
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	決算額(千円)	備考	事業担当課
1 地球環境に配慮し、資源やエネルギーを大切にす、循環型社会のまち	1 低炭素社会づくりの推進	1 再生可能エネルギーの導入促進	太陽エネルギーなどの再生可能エネルギーの導入を推進するとともに、ごみ処理等のエネルギーの有効利用を検討します。	・てんぷら油の回収について、広報いせや講習会の場で啓発を行う。 ・回収したてんぷら油について、市内公衆浴場での重油、焚きつけ材にかわる燃料やバイオディーゼル燃料として、再利用を図る。	資源ごみ売却収入	1	—	資源ごみ売却収入予算12,672千円(内廃食用油分1千円)	清掃課
				・太陽光発電設備の導入を支援 上限6万円/件(補助率10%) ・太陽光発電設備の導入を支援 上限16万円/件(補助率10%)	太陽光発電普及促進事業	・12,827 ・12,094	—	上限16万円については、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金	環境課
		2 次世代自動車の普及促進	電気自動車等の次世代自動車の普及を進めます。	・家用自動車への依存度が高くなっており、マイカーからよりCO2排出量の少ない公共交通機関利用へのシフトを促進。 ・交通渋滞対策(パークアンドバスライド等)を進め、自動車乗車時間の減少を図り、CO2削減に寄与する。	・コミュニティバス運行事業 ・自主運行バス運行事業 ・観光交通対策特別会計	584,873	—	一般財源: 90,609千円(コミバス) 8,242千円(自主運行) 482,086千円(交通特会) 国庫補助金: 3,936千円(自主運行)	交通政策課
				電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用促進や充電設備の普及促進、EVを活用した観光キャンペーン等を実施する。	—	—	—	—	環境課
		3 省エネルギーの推進	省エネルギーな生活・事業活動への転換を行います。	夜間の犯罪防止のために設置している防犯灯をLED防犯灯へ取替え、LED防犯灯の設置を推進していくため、補助金・助成金を自治会等に交付する。 防犯灯を蛍光灯からLEDに切替ることで、電気代を30%程度削減し、CO2排出量を約50%削減できる。省エネルギーの推進に繋がる。	防犯灯設置等補助金	43,824	—	予算額43,824千円は、通常の防犯灯修繕料、電気代を含む	危機管理課
				・倉田山公園に省エネで長寿命光源の照明灯を設置。 ・道路照明施設にLED球を設置及び取替を行う。	・倉田山公園整備事業(防災交付金) ・交通安全施設整備事業 ・交通安全施設管理経費	5,500	—	倉田山公園整備事業(防災交付金)の予算額40,189千円の内4,000千円が照明灯設置対象分 ※事業全体として 一般財源: 26,189千円(倉田山) 国庫補助金: 14,000千円(倉田山) 交通安全施設整備事業の予算額15,220千円の内1,000千円が照明灯設置対象分 ※整備事業全体として 一般財源: 15,220千円 交通安全施設管理経費の予算額33,633千円の内500千円が照明灯設置対象分 ※管理経費全体として 一般財源: 33,633千円	基盤整備課 維持課
				重度身体障害者デイサービスセンターへ高効率空調を導入	伊勢市重度身体障害者デイサービスセンター空調設備等改修工事	108,000	—	現在、環境省による平成27年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を申請中。採択されるかは未定。	高齢・障がい福祉課

基本 目標	大項目	小項目	内容	平成27年度							
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	決算額(千円)	備考	事業担当課		
2 豊かな自然を守り、水と緑と人が共生する魅力あるまち	1 自然環境の保全	1 生物多様性の保全	動植物の生息・生育環境を保全し、生物多様性の保全に努めます。	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図る。	—	—	—	今後、台風等による災害が発生した際には、復旧事業の中で対応していく。	基盤整備課		
				企業が実施する生物多様性活動や水生生物による水質調査により、身近な動植物の生息・生育状況等の環境調査を実施する。	—	—	—	—	環境課		
				セアカゴケグモやアライグマ等の外来生物による被害予防に関する情報提供や啓発を広報やホームページ等により実施	—	—	—	—	環境課		
		2 水環境の保全	水質汚濁の防止・改善、および良好な生活環境の確保のため、生活排水対策を推進します。	宮川本流、支流等23箇所において水質チェックを実施	宮川流域連携事業負担金	700	—	左記予算額は、宮川流域ルネッサンス協議会への負担金	企画調整課		
				伊勢市の公共用水域(河川・海域)における水質の現状値を分析して生活排水対策の資料とする。	調査事業	3,107	—	—	環境課		
				河川堤防法面の除草等を行う。	河川維持補修経費	12,722	—	—	維持課		
				下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	3,511,329	—	—	上下水道総務課		
				浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	147,554	—	—	環境課		
		3 自然とのふれあいの増進	自然を満喫し、また、自然環境保全の意識を醸成するため、自然とふれあう機会や環境の整備を行います。	宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与するため、小学生等を対象とした自然体験活動を実施	宮川流域連携事業負担金	700	—	左記予算額は、宮川流域ルネッサンス協議会への負担金	企画調整課		
				・伊勢市環境会議が主催する勢田川七タ大そうじにおいて勢田川沿岸を清掃する。 ・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	生活排水対策事業	195 5	—	予算額341千円(内七タ大そうじ195千円、水生生物調査費5千円)	環境課		
	・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会等に負担金を交付。 ・朝熊ヶ岳参詣マップを作成。			・広域連携事業 ・観光情報発信事業	・1,233 ・1,512	—	—	観光振興課			
	2 公益的機能の保全			1 森林環境の保全	森林の有する公益的機能(水源のかん養、自然災害の防止等)を発揮できるよう、適切な森林管理を推進します。	・間伐による森林の適正管理	環境保全林整備事業	1,000	—	一般財源:1,000千円	農林水産課
					農地の有する公益的機能(自然災害の防止、景観形成等)を発揮できるよう、農地の保全を図ります。	・農業・農村地域における草刈りや・泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行う。 ・集落・地域において、将来にわたり農地を累積し、それらを耕作する中心となる経営体を決定するプランを地位住民とともに作成する。	多面的機能支払交付金事業	145,840	—	一般財源:36,437千円 多面的機能支払推進交付金:100千円 多面的機能支払交付金:109,303千円	農林水産課
		3 沿岸海域環境の保全	沿岸海域の有する公益的機能(水循環、沿岸景観形成、海洋文化醸成)を発揮できるよう、沿岸海域環境の保全を図ります。	・漁業者とともに干潟の環境改善を行う。	干潟等保全活動支援事業	250	—	一般財源:200千円 水産多面的機能発揮対策運営交付金:50千円	農林水産課		
	・海水浴場期間前に二見旅館組合主催の二見浦海岸清掃に参加。			—	—	—	—	観光振興課			

基本 目標	大項目	小項目	内容	平成27年度						
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	決算額(千円)	備考	事業担当課	
3 歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまち	1 都市・快適環境の向上	1 住環境の向上	騒音・振動、悪臭等の公害や、近年増加している空き家などが適正に管理され、安心安全で快適な住環境の実現を目指します。	・空家等対策計画の策定 「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行に伴い、「空家等対策計画」を28年度を目標に策定するため、市内の空家実態調査を実施し、その結果をまとめる。 また、庁内体制について検討する。	—	—	—	—	建築住宅課	
				伊勢市内の自動車騒音や環境騒音・振動、悪臭の環境測定を実施して、基準値を超えていれば改善指導等を行う。	調査事業	1,316	—	—	環境課	
		2 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進し、誰もが快適に生活できるまちの実現を目指します。	バリアフリー観光を実現するために、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター等が設立したおもてなしヘルパー推進会議に負担金を支出する。	バリアフリー観光向上事業	2,330	—	—	観光振興課	
				市の公園施設において、出入口やトイレのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。	・公園整備事業(防災・安全交付金)(①) ・宮後公園整備事業(交付金)(②)	30,500	—	一般財源: 11,000千円(公園整備) 8,500千円(宮後公園) 国庫補助金: 7,000千円(公園整備) 4,000千円(宮後公園)	基盤整備課	
		3 美しく潤いのある空間づくり	生活者も来訪者も快適に過ごせる地域の環境美化、衛生環境の向上に努めます。	公園緑地の修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行う。	都市施設維持管理経費	150,709	—	—	維持課	
				・伊勢市を美しくする条例の周知と市民の環境美化意識の高揚を図ることで、きれいなまちづくりを推進するため、「伊勢市環境会議」と5月30日のごみゼロの日にちなみ、伊勢市駅周辺において早朝清掃を行う。 ・広報いせや出前講座及び看板の設置にて、空き缶やたばこの吸殻のポイ捨て防止についての啓発を行う。	きれいなまちづくり推進事業	10	—	予算額305千円(内ごみゼロ清掃10千円)	清掃課	
				・狂犬病予防集合注射案内時および動物愛護週間時の広報いせを活用したペットの飼い方マナー啓発 ・犬猫不妊去勢手術を行った飼い主に助成金を交付(交付件数700件) ・落書き消去活動を行う団体等に消去用具を貸与	・狂犬病予防事業 ・犬猫不妊手術費等補助金 ・衛生一般経費	・1967 ・2325 ・26	—	衛生一般経費41,363千円の内26千円が落書き消去用具購入費	環境課	
		2 歴史的・文化的環境の保全	1 伊勢の環境文化の保全	伊勢のまちで醸成された環境文化を保全・発信します。	・環境フェア等にて、伊勢の環境文化の発信を行う。 ・三重県のモデル事業として取り組む電気自動車等を活用した取組を県のネットワーク会議を通じて県内他の市町へ情報発信を行う。	—	—	—	—	環境課
					・「伊勢市景観計画」に定める景観形成基準に基づく指導 ・内宮おはらい町地区と二見町茶屋地区において、建築物の建築等又は工作物の建設等で、伊勢市景観計画に定める重点地区景観形成基準に適合した事業に補助金を交付	景観形成推進事業	5,000	—	—	都市計画課
	3 伊勢の環境文化を伝えるおもてなし		伊勢市を訪れた人が、伊勢市の環境に配慮したライフスタイルを地元へ持ち帰り、実践してもらえるようなおもてなしを推進します。	寄せ植えコンテストを三重県種苗協会と共催	観光客受入観光創出事業	980	—	—	観光振興課	
				市民参加による「花のまちづくり」の推進	都市施設維持管理経費	4,310	—	—	維持課	

基本 目標	大項目	小項目	内容	平成27年度							
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	決算額(千円)	備考	事業担当課		
4 協働でつくる、人と環境にやさしいまち	1 環境教育・環境学習の充実	1 ESDに基づく環境教育・学習の充実	ESDの視点に基づき、学校や地域・社会での環境教育・環境学習の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境保全の取組、環境集会の実施 ・省エネルギーの取組(節電・節水の推奨、緑化活動) ・リサイクル活動のためのアルミ缶回収の実施 ・学校、地域ごとの浜清掃、河川清掃の実施 ・環境保全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・伊勢市環境会議による出前講座の実施 ・絶滅危惧1B類ヒヌマイトノボの学習と生息地の保護活動 ・松林保全のための植樹活動 	—	—	—	—	—	学校教育課	
				<ul style="list-style-type: none"> ・「伊勢市環境会議」の主催で、3Rの推進及び不法投棄防止を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」の募集を行う。 ・小学校の社会学習として、ごみの分別・3Rの推進の説明やバッカー車による収集の体験等を行う出前講座を実施する。 	きれいなまちづくり推進事業	213	—	予算額305千円(内ポスターコンクール213千円)	清掃課		
		2 環境教育等を推進する体制づくり	地域や学校、職場等で環境教育・環境学習を総合的・体系的に推進する体制づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・太陽光発電のしくみの学習、河川環境の保全活動など ・伊勢市環境会議による出前講座の実施 	—	—	—	—	—	学校教育課	
				民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	環境教育推進事業	200	—	—	—	環境課	
		2 環境保全活動の推進	1 市民・団体による環境保全活動の推進	市民一人ひとりが環境に配慮した暮らしを実践し、また、地域やグループにより環境活動の推進を図ります。	民間事業者と連携し、小学生を対象にキッズISO14000プログラムを実施し、家庭において環境に配慮した生活スタイルを実践いただく。	—	—	—	—	—	環境課
					伊勢市産業支援センターにおいて、市内事業者に向け、環境マネジメントシステムに関するセミナー等の情報発信を行う。	—	—	—	—	—	商工労政課
	2 事業者による環境保全活動の推進		事業活動における環境負荷の低減や、地域活動等への協力を推進します。	企業が実施する生物多様性活動や清掃活動に参加・協力し、地域活動等への協力を推進する。	—	—	—	—	—	環境課	
				3 市民・事業者・行政の連携・協働	市民、事業者、市が情報共有し、意思疎通を図り、相互理解のもと協働で活動展開できるようネットワークの形成を図ります。	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進する。	きれいなまちづくり推進事業 生活排水対策事業	・305 ・341	—	—	清掃課 環境課
	環境フェアの開催 市内の環境団体・事業者等により、環境取組の紹介や啓発活動を行う。 ※市制施行10周年事業として開催予定		環境フェア等開催事業			1,299	—	—	環境課		
	3 環境情報の受発信の強化		1 環境情報の収集・分析	伊勢市の環境に関する情報やデータを収集・把握するとともに、現況や今後の展望についての分析を行います。	伊勢商工会議所環境委員会と連携し、環境に関する情報の共有等を行う。	—	—	—	—	—	環境課
		生物多様性に関する研修による職員の人材育成及び他機関の情報収集及び連携を図る。			衛生一般経費	97	—	—	—	環境課	
		2 環境情報の発信・活用	市民や事業者が理解、利用しやすいよう、環境情報を発信するとともに、活用方法を検討します。	市HP・広報いせ等を活用し、情報発信の強化を行う。 環境フェア等の市内イベントにおいて環境啓発・情報発信等を行う。	—	—	—	—	—	環境課	